# 指定管理施設モニタリングチェックシート

(令和4年度 年間(4月~翌年3月)の管理運営状況)

施設名	平戸文化センター	指定管理者	株式会社 SOUND M FACTORY		
指定期間	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで	担当課	財務部 企画財政課		

#### 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比較 (B/A×100)
		開館日数(日)		360	324	
業務の 遂行状		延べ利用者数(人)		25,000	50,092	
逐111 <b>人</b> 況	事業開催   数		必須事業(回)			
			自主事業(回)			
		指定管理料(円)		39,500,000	41,005,532	
	収入		利用料収入(円)	12,200,000	19,850,280	
		I	自主事業収入(円)	480,000	132,250	
		その他の収入(円)		220,000	515,538	
	収入計(円)		収入計(円)	52,400,000	61,503,600	
収支状 況	支出		人件費(円)	25,783,000	26,052,741	
,,,		肴	維持管理経費(円)	18,240,000	21,222,830	
		自主事業関係経費(円)		676,000	694,313	
		その他の支出(円)		7,701,000	11,263,040	
	支出計(円)		支出計(円)	52,400,000	59,232,924	
	,	収支(収入-支出)(円)		0	2,270,676	

### 指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

### 【開館日数・利用者数について】

特定の休館日を設定しない事 用者数も増加している。予約のな い日を休館日とし、光熱費が高 騰している中で経費削減に努 め、過不足ない公共施設の運営 を行った。利用者へのサービス 向上に努めリピート利用や新規 利用を着実に増やしている。

※当社指定管理以前の3年間平 均休館日数:54.7日、当社指定管 実施し経費の削減につなげた。 理後3年間平均休館日数:25.3 日。

### 【事業の実施状況について】

法令遵守を念頭に利用に関わる申請書類 で、催事に合わせて予約でき、利|等を適切に運用した。利用者が安心して利用 できるよう、申請、打ち合わせ、催事のサポー ト、技術(音響・照明・舞台)の向上に努めた。 ト)を職員が実施し利用者の負担軽減につな げ、少子高齢化が進む地域の公共施設として予算執行を補正し、施設や設備の修繕、利用 の役割を担った。施設の経年劣化が顕著にな り雨漏り等で利用に支障が出始めていたため 各施設の不具合箇所を担当課にリアルタイム
決算後の利益については平戸市に寄付を行 で報告し協議を行い、当社で積極的に修繕をう。

### 【収支状況について】

新型コロナウイルス感染症の情勢による影 響、光熱費の高騰、施設の経年劣化の進行と 消極的な要因はあったものの、適切な施設運 営、利用者へのサービス向上に職員一丸と ービス向上として催事の事前準備(レイアウ|なって取り組み目標利用料収入を大幅に超え た。所管課と協議を行い、当初予定していた 案内看板の増設等、利用者へのサー -ビス向 上につながる予算執行を実施した。

### 所管課の評価(指摘事項)

# 【開館日数・利用者数について】

開館日数としては、予約の無 い日を休館日としたことで前年度 より減ったものの全体の利用者 数は前年度より増えている。この ことから利用が見込めない日の 開館を減らすことで光熱費等の 経費節減を行いながら効果的な 運営ができている。

# 【事業の実施状況について】

コロナ禍であっても、感染対策を十分に行っ て運営することができていた。また、利用にあ たっての事前の打合せや会場設営等も行って おり、ニーズに沿った利用しやすい環境づくり をしていることが利用者数の増加に繋がって いると思われる。

また、経年劣化による老朽化が著しい施設に おいて館内の整理整頓や美化、担当課と協 議しながら企業努力による修繕等を行い会館 利用時における不具合発生の減少に努めて いることも平戸文化センターの評判を高めて いる要因の一つと考えられる。

# 【収支状況について】

収入については、利用者数の増加による料 金収入の増。電気料金の高騰による指定管 理料の補填により増加している。

支出については、全国的な物価高や光熱費 の高騰及び経年劣化による施設修繕等によ り維持管理経費が増加している。また、施設 利用が増えたことにより対応する職員に不足 が生じ、その補充による人件費が上がってい る。

このような厳しい状況下において前年度を 上回る収益を上げたことは企業努力による成 果である。

# 2 チェック項目

2 ナエック項目									
	評価項目•評価事項(数値目標)	確認資料等	指定管理者の自 己評価	所管課の評価					
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者 アンケート、申請書	適正·要改善	適正·要改善				
文门中の未初	利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正·要改善	適正·要改善					
	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕 切に行っている	各種点検結果報告 書、実地	適正 要改善	適正·要改善					
施設・設備の	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に る	日報、月報、実地	適正 要改善	適正·要改善					
維持管理	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正 要改善					
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負 いない	実地	適正 要改善	適正 要改善					
安全性への配	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュ 整備され、また、職員等に対する指導訓練が遙 あり、市への通報体制が整っている。	危機管理マニュア ル	適正 要改善	<b>適正</b> ·要改善					
慮	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の整備 ど利用者への安全対策が講じられている。	実地	適正 要改善	適正 要改善					
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正 要改善	適正 要改善					
	ホームページ等により施設の情報の公開に努め	ホームページ	適正·要改善	適正 要改善					
透明性・公平   性	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュア ル	適正 要改善	適正·要改善				
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正 要改善	適正·要改善					
	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を 営に反映している	利用者アンケート	適正 要改善	適正 要改善					
効果的·効率	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報 告書	適正 要改善	適正·要改善					
的な運営	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報 告書	適正 要改善	適正 要改善					
			ホームページ	適正 要改善	適正 要改善				
	事業計画書どおりの人員を配置している	10人	人員配置計画、実 地、出勤簿	適正 要改善	適正 要改善				
人員配置・人	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修 を行っている	6回/年	研修マニュアル	適正 要改善	適正 要改善				
材育成等	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている		人員配置計画	適正 要改善	適正 要改善				
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされ ている		実地、出勤簿	適正 要改善	適正·要改善				
個人情報の保	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マ ニュアル	適正要改善	適正 要改善				
護	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正 要改善	適正 要改善					
自主事業の取 組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に いる	事業報告書、日報、 月報、実地	適正 要改善	適正·要改善					
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ごみの派 ど、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正 要改善	適正 要改善					

# ※評価基準

「適正」:その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」:その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見(改善点、その他特記事項)

### 【指定管理者の自己評価根拠】

受付等の業務:利用許可申請書、利用請求書等にて判断

|施設設備の維持管理:消防法、防火管理者等関連書類、清掃委託事業者報告書、委託事業者一覧等にて判断

安全性への配慮:危機管理・リスクマネジメントマニュアル等、各種マニュアルにて判断

透明性・公平性:ホームページ、利用ガイドブック、利用アンケート及び聞き取りにて判断 効果的・効率的な運営:利用者アンケート、月次報告、ホームページ、利用ガイドブックにて判断

人員配置・人材育成等:出勤簿、研修マニュアルにて判断

個人情報の保護:個人情報保護マニュアルにて判断

自主事業の取組:月次報告にて判断

環境への配慮:週に1度、業者による資源ゴミ(段ボール・古紙・空き缶)の回収を実施している事で判断

### 所管課による所見(指摘事項など)

毎月開催する月次報告会等において、担当課と指定管理者は連絡調整ができており、根拠資料についても適切に作成されて いる。また、随時、施設の状況確認に行った際にも施設内は整理整頓されている。

平戸文化センターの管理運営全般について、条例や協定書に基づき適正に行われている。市や利用者のニーズについても 迅速に反映し数字上でも利用者数や料金収入の増加という結果から確認することができ、全ての項目において「適正」に行わ れている。